

令和5年度 部活動改革に向けた実態調査結果について (生徒用)

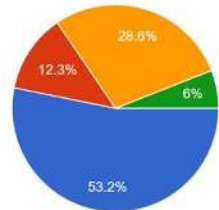
No. 1

【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

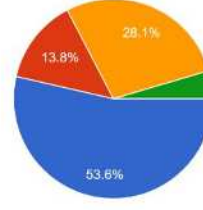
1. 現在所属している学校の部活動、または地域のクラブについて教えてください。【全員回答】

504 件の回答



● 学校の部活動のみに所属している
● 地域のクラブにのみ所属している
● 学校の部活動と、地域のクラブのどちらにも所属している
● 学校の部活動と地域のクラブのどちらにも所属していない

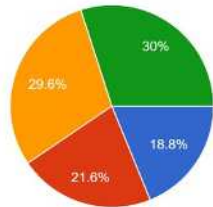
726 件の回答



● 学校の部活動のみに所属している
● 地域のクラブにのみ所属している
● 学校の部活動と、地域のクラブのどちらにも所属している
● 学校の部活動と地域のクラブのどちらにも所属していない

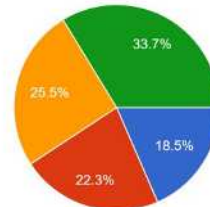
2. スポーツ庁、文化庁の動きを受け、酒田市では休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？ 【全員回答】

504 件の回答



● 知っている
● まあまあ知っている
● あまり知らない
● 全く知らない

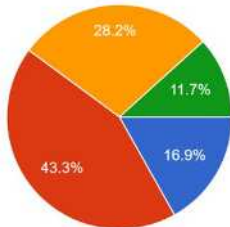
726 件の回答



● 知っている
● まあまあ知っている
● あまり知らない
● 全く知らない

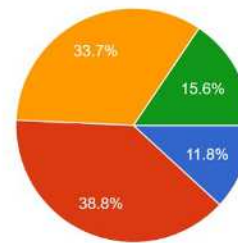
3. 現在、学校部活動の地域移行が進んでいると感じますか？ 【全員回答】

504 件の回答



● 進んでいる
● まあまあ進んでいる
● あまり進んでいない
● 全く進んでいない

726 件の回答



● 進んでいる
● まあまあ進んでいる
● あまり進んでいない
● 全く進んでいない

考察

地域移行の受け皿がある、無しにかかわらず、ほぼ同じ割合だった。受け皿となるクラブがなくても、地域のクラブに所属している生徒が一定程度いる。

4割ほどの生徒しか令和7年度末で休日の部活動がなくなることが分かっていない。現中学生は卒業するため、自分事にはなっていないと思われる。

地域移行の受け皿がある左の学区については6割以上が進んでいる実感があるが、受け皿のない右の学区は5割程度に留まっている。大人程実感はない。

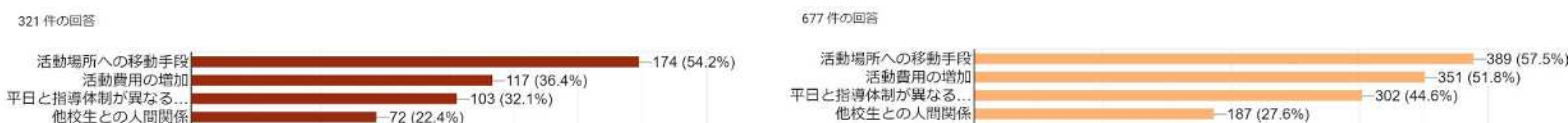
【一中、四中、東部中学区】

【二中、三中、六中、鳥海八幡中学区】

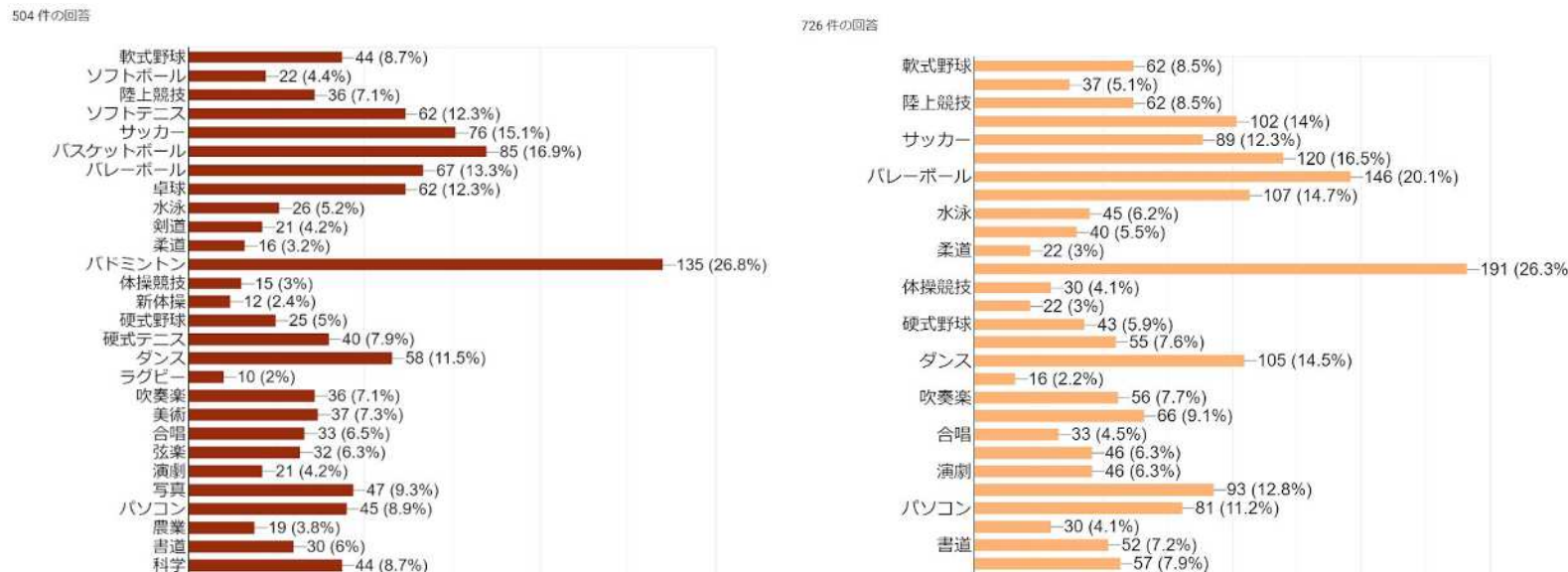
4. 学校部活動を地域クラブ（地域の指導者や指導を希望する中学教員など）に移行した（した場合）メリットがあればお答えください。【複数回答可】



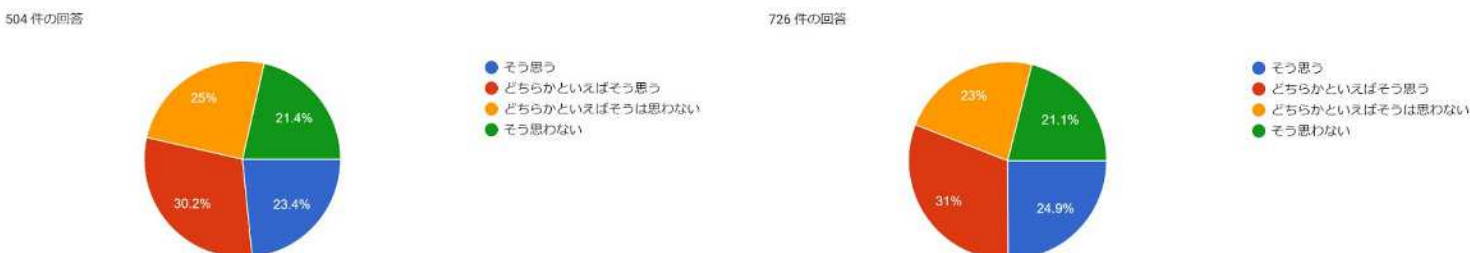
5. 学校部活動を地域クラブ（地域の指導者や指導を希望する中学教員など）に移行した（した場合）デメリットがあればお答えください。 【複数回答可】



6. 現在、取り組んでいる種目以外に、どのような種目の活動をやってみたいか【全員回答】【複数回答可】



7. やってみたい種目の活動ができる地域のクラブがあれば入りたいと思いますか？【全員回答】



考察

専門的な指導が受けられると好きなスポーツができるのが良いと思っている割合が高い。

大人と同様、移動手段がネックと感じている生徒が多い。

バドミントンが圧倒的に人気である。それに続くのが、バレーボールとバスケットボールとなっている。

やってみたい種目のクラブが地域にあってもやりたい人とやりたくない人の割合は半々である。移動手段がネックになっているかもしれない。